

学校長殿

平成 29 年 7 月 27 日

平成 29 年度「高校生意識調査」調査ご協力をお願い

全国公民科・社会科教育研究会
会長 東京都立墨田川高等学校長 上村 肇

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、全国公民科・社会科教育研究会（全公社研）の前身となる研究会の一つである、全国高等学校倫理・現代社会研究会（全倫研）では、昭和 62 年度以来、2～3 年おきに「全国高校生意識調査」を実施してまいりました。しかし、平成 13 年度に実施され 15 年度に「全公社研紀要」第一号に結果が報告されたのを最後に、途絶えておりました。

この調査の目的は、「移り変わりの激しい社会の中で生きる高校生に、よりふさわしい公民科教育を行うための基礎資料とする」（平成 10 年度報告書）と記されておりました。最終実施以来 15 年が経過し、社会情勢は当然大きく変化しました。この間、かつての調査に参画した会員も少なくなりました。しかし、調査のノウハウを受け継ぎながら、本来の趣旨に立ち返って同様の調査ができないか、検討を繰り返し、ようやくそのための準備が整いました。

折しも、本年度は、高等学校の新しい学習指導要領が作成されます。先立って公表された「改訂の方向性」によれば、高等学校公民科においては、必修科目「公共（仮称）」が新設され、そこでは公共空間に主体的に生き他者と協働するための資質・能力の育成が求められています。選択科目「倫理（仮称）」「政治・経済（仮称）」においても、原典資料や対話的方法（「倫理」）、合意形成や討論・ディベート（「政治・経済」）が学習活動の例として示されるなど、思索を深めたり社会形成に向かったりする科目としての授業の工夫が求められています。

わたしたちは、現行の学習指導要領のもとで行ってきたさまざまな教育方法・内容の実践的な研究を総括しながら、これらの「改訂の方向性」に示された新しい学習指導要領において期待される授業の開発に向けて、そのための基礎資料として活用できることを目指して、この調査を実施することにしました。

平成 13 年度以来の実施となる本調査の作成に当たっては、特に以下の点に配慮しました。

（1）平成 10 年度、13 年度には、「ローゼンバーグの自己評価尺度」に加えて新たに「行動を決定する判断基準」および「自他の関係についての傾向」について、説明尺度としての有効性を確認しました。今回も、この 3 つの基準を用いることで、高校生の生活意識とその変化を多元的に分析し、学校生活や授業における対応について考察するうえで参考になるようにしました。

（2）高校生の生活意識を明らかにするための設問については、社会状況の変化に合わせてすべて再吟味の上、改廃ならびに新設をいたしました。その際、近年行われた各種機関や自治体、民間等の様々な先行調査を参照し、割愛してもよいもの、重複していても説明尺度とのクロス集計等で新たな知見が期待できるもの、本調査でユニークなものを選び出しました。

(3) 公民科授業の方法や内容については、本調査の特徴でもあり、回答方法も含めてより詳細な分析ができるように設問を工夫しました。特に教育方法については、近年の研究を参考にしておおきく組み直すことで、今後の授業改善に資するようにしました。

なお、回答用紙は無記名で、データ管理および調査結果の公表に際しては個人・学校の特特定がされないようにいたします。学校ごとのデータ提供や、調査報告にないクロス集計などについては、学校のご依頼に個別に対応します。集計が終わったデータについては、速やかに廃棄・消去いたします。

実施にあたりましては、可能であれば同封の質問用紙、回答用紙の人数分の印刷をお願い申し上げます。それが困難な場合は、当方より別送いたしますので、必要枚数(人数)を下記までお知らせください。

回答の返送につきましては、恐れ入りますがいったんお立て替えいただき、到着後、郵券でのお支払いとさせていただきます。こちらに関しましても、不都合がございましたらご相談ください。

集計分析の都合上、平成29年10月末日を提出期限としておりますが、12月末までにお送りいただいたデータについては、学校別データの実施校へのご提供、全体集計への反映など、可能な限り役立てさせていただきますので、ご都合に合わせて実施していただければ幸いです。

集計分析の報告につきましては、平成30年中を予定しております。

その他、詳細につきましては、別添の「『全国高校生意識調査』実施上のお願い」をご参照ください。

何卒ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

本調査に関するお問い合わせ、および回答用紙の返送は、下記までお願いします。

〒116-0003 東京都荒川区南千住 8-17-1 東京都立産業技術高専荒川キャンパス

和田倫明(わだみちあき)

email: mwada@metro-cit.ac.jp 携帯電話 090-8460-4774